

修徳

題字：伊藤博文

発行所 修徳自治連合会 廣報委員会 修徳社会福祉協議会 発行責任者 篠原 實 編集責任者 小西 宏之 印刷所 (有)草美プリント

保険料と介護の判定に関心

制度保険概要

社福協、民生児童委、保健協、女性が共同で企画

「保険あつて介護なし」という状態にならないか、みんなの心配はそこにあるし、保険料はいつたにいくらのだろとか不安がついてる人たちも多し。来月四月からはじまる『介護保険制度』に関心がつくる。六月十八日午後七時三十分から元修徳校校舎会議室で概要説明会が開催され約七十名の参加があつたことは、時期を得た企画であつたといえる。

保険料免除制度は不明

社福協の松本会長の司会は、『いろいろなか人がいろいろに生きる……お互いに……支え合う』という詩の紹介から始まつた。篠原会長のあいさつ、そして、下京区役所、福祉部介護保険課 課長山口吉勝氏、係長内藤

総合福祉施設に情熱傾ける

心配してはたし、学区世帯数も大きな落ち込みもなく、平成十年の現有戸数維持して、新年度の連合会予算を編成することができた。今年も仲良、ポラントピアの集団としてがんばりたい。その目的の性格からいって、学区民のマイナスになるよ



『修徳』平成十一年度初号に寄せて

会長 篠原 實

何かに没頭して、生きていきたかと思つて、わたくしの「七十七才」に近づいた頃、妻の体調が怪しくなつてきた。昨年、ペースメーカーの

てきた。そこで、人生観の軌道修正が避けられないと痛感した。九十に近い会社の歴史に終止符を打つ決心が早まつた。後事を託したいと思う後継者も

介護なしにはならない

京都市 試算を公表

なお、六月五日付け朝日新聞京都版に、京都市は介護保険事業計画策定委員会の試算を公表したという報道があつた。

Table with columns: 区分 (Category), 保険料 (Insurance Fee). Rows include categories like '生活保護の受給者', '世帯全体が住民税非課税', '本人が住民税非課税', etc. with corresponding fee calculations like '基準額×0.5'.

今回の企画の趣旨は、都心に住み土に接する機会を少なくする。供たちに野外活動の機会を増やそうということでした。七支部から派遣されたプラネット委員と各支部からの数名の協力委員で引率するこ

自主防災会

防災マップ表彰される 審査員奨励賞



修徳学区自主防災会は、防災マップの必要性と内容についての提案を、『あんしんマイタウン大賞』に作品とともに応募した。市民で構成された『災害に強いまちづくり』京都市民委員会(委員長立野聖子)の審査、選考の結果、佳作のなかでも、とくに優れていると認められ、『審査員奨励賞』に選ばれた。去る一月十七日、京都会館第二ホールで開催

歩いた 見た かも川源流

五條 下京プラネット少部 洛央小学校前に集合し、地下鉄を北大路駅まで乗りました。北大路橋から

スタートし、新緑のかも川堤をピンゴゲームをしながらかも川を学年別にわかれ、上流めざし



一ムまの続きなどをしました。それぞれ、かも川の中に入ったかき取りました。帰りは地下鉄北山駅まで約四キロ、かも川の風景や野鳥を見ながら、最後までがんばつて歩きました。すばらしいお天気にも恵まれ、みんなが、ほんとうに楽しい一日を過ごすことができました。(千穂)

- 11. 6. 6 下京区民ソフトボールフェスティバル 参加
11. 6. 27 下京区民大会(バレーボール祭) 参加
11. 10. 3 学区民大運動会 開催予定

修徳女性会創立五十周年を祝う

式典に百五名が出席

地域の発展に役立つ組織に

五月二十七日、午後六時より、からすま京都ホテルの「双舞」の間において、修徳女性会創立五十周年を祝う式典が挙行された。式典は百五名の出席による盛大なものになった。



会長あいさつ

すがすがしい新緑の、晴れ晴れとしたこの日、修徳女性会創立五十周年の記念すべき式典を、このように盛大に開催することができました。ご来賓の下京区長岡本重雄様、同地域振興課長福田正様、連合会会長篠原實様はじめ、連合会理事の皆様は紙上を借りまして心からお礼申し上げます。

女性会は、その前身の修徳婦人会として、昭和二十三年十月二十三日に創立されました。戦後のまはるけ期に地域の和、婦人の地位の向上と福祉の発展を願って、活動を開始されました。それから、時代は女性の解放よりも

ます。これからも、女性会を、あたたくご指導くださるとともに、ご協力いただきますようお願い申し上げます。(中村)

の配布、高齢者でひとり暮らしの方がたの食事会、布団乾燥サービス、またふれあい広場の敬老福引きなどは参加者全員に喜んでいただけていると思う。

画したい。(二)各町委員が率先して行事に参加していただくよう魅力的な内容を企画する必要があると思う。また、交対協婦人部の人員を増やし、学区民の交通安全と近隣の迷惑駐車や駐輪の「マナー啓発活動」に活躍していただきたい。

どう事業展開を図る

各理事へのアンケート

五月二十四日の総会の報道のかわりに、各委員長、団体にアンケートしてみた。

会計委

(一) 明朗で公開された会計を目指し、かつ詳細を理解していただける報告をするように心がけてきた。

社福協

(一) 「地域福祉」を基本として、学区民で支えあう社会、学区民の方々の健康増進と福祉のための活動を行ってきた。

自主防災会

(一) 災害に強い街づくり、万一の時に常日頃の備

消防分団

(一) 消防分団は、学区に火災を出さない決意で学区民の皆様のご協力を願っている。

交対協

(一) これまで、交通対策協議会の行事には、交通指導員がすべての活動に携わってきた。

少年補導委

(一) 次世代を担う青少年の非行防止と健全育成を願って、地域ぐるみで取り組むことを主眼にしている。

防犯推進委

(一) 五条平安レディが誕生したので、女性の立場から街の防犯推進を考えてみたい。

表彰 受賞者のお知らせ

- 一月八日
 - 京都市社会福祉協議会 会長表彰
 - 桜田 佳正 (材木)
 - 近森佐太郎 (中野之)
 - 京都市社会福祉事業 功労者
 - 市長表彰
 - 松本 祥男 (大堀)
- 三月十一日
 - 京都市消防局長表彰
 - 大堀町自主防災会
 - 下京消防署長表彰
 - 堀 順象 (大江)
 - 修徳自主防災会
- 五月三十一日
 - 市民憲章推進者表彰
 - 桜田 佳正 (材木)
 - 永年にわたり、地域の防災活動に従事することにも、ボランティアのリーダーとしても活躍し、住民が支え合い、安心して暮らせるまちづくりに貢献。
 - 柿本 禎三 (布屋)
 - 永年にわたり、青少年の健全育成、指導に尽力し
- 七月四日
 - 下京区誕生 120周年記念式典
 - 下京区市政協力委員 市長特別表彰
 - 篠原 實 (月見)
 - (敬称略)

中野之町の町史が完成

中野之町 近森佐太郎

平成四年七月発行の修徳の歴史書「修徳」を受けて、このたび中野之町の歴史書が、中野之町歴史研究会(櫻本孝司委員長)により編集されました。

文化行動

新しい情報生かして

「打ち水」といって、打ち水というひとりの文化行動をするためにも、新しい知識と情報を複合的に採用して判断する必要があります。

まちづくり わがまち美しく

打ち水にもひとへの思い

京都の町を美しくする活動が、市をあげて続けられていく。地球温暖化防止を目的として、京都府、京都市、京都市で「ひと」を思うからである。

夢の半径、広がるね。

心に芽生えた夢が、やがて確かな実感へ。私たち中宿は、皆様方との楽しいおつきあいを通じて、より豊かな暮らしのお手伝いをしてまいります。

中宿 CHUSHIN 五条支店 五条通西河原角 (351)2951



京都市『都心再生まちづくり』より

跡地公園をまちの核に

公園がみんなの「憩いの場」となり、地域のコミュニティをつなげる核にしたい。では何を話し合うか。

(一)木を選ぶ。みんなの意識のPRには地球温暖化防止になるという常緑広葉樹。耐水力の大きい防火に役立つ木(チョウ、ナギ)。近隣の空気が悪いと知らせてくれる排ガスや煙害に弱い木(ヤブキ、アサノ、ヒメ)。高齢者には、夏は涼しく冬は葉が落ちて日がさす、落ち葉を踏んで散歩が楽しめる落葉広葉樹(モミジ、ナギ)。こどもはどんぐりが拾える木(コナラ、クヌギ)。毛虫や花粉などで要注意はサクラ、スギ、ヒノキ。(二)花を選ぶ。四季いつでも花を咲かす。いろいろ工夫すればおもしろい。ただ、野菜は雑然となる(府内西郷)。遊具(金網、砂場、動物の糞、広場、芝生)。(三)心配りが必要な、近隣の環境保全について。イヌやネコのふん尿、ゴミ、トイレ、有機肥料などの悪臭。生ごみを埋めて肥料に有害虫の発生。殺虫剤、農薬で悪臭と健康被害。花壇の雑草を手で抜かないで除草剤を使うと悪臭と健康被害。必要な万全の防止策。

この六月十日に『まちづくり委員会』が発足した。

まちづくり

この『まちづくり委員会』のまわりには、こどもたちと母親、高齢者、学区民各層の創意を集めるワークショップがほしい。まず跡地公園でこれができるか。

新しい知識が新しい気配り生む

『まちづくり』で「住みよいまち」の条件のトップに空気などの環境汚染の防止がある。(建設省)の環境汚染防止。京都市はこの四月に、家庭で燃やすすべての焼却機器から、ばいじんやダイオキシンを規制し、市に協力する義務を課した。国内では、先駆的なものと評価したい。ダイオキシンは青酸カリの千倍、あのサリンの二倍の毒性をもつ。ごみ焼却炉の煙突高さにより、周囲一キロとか、百メートル以内とかで「ガン」死亡率が五十%近い。胎児乳幼児の精果異常や精子の数が運動率の減少、形の悪化など、成人後の不妊症、免疫不全による病など、その範囲外より歴然と病人が多くなる(中央環境保健所、公害調査課)らしい。今回政府がダイオキシンの規制値とした体重一キロあたり四ピコグラムで、ラットが発ガンし性器に異常がでる。ピコグラムは一グラムを一兆で割った量。ひとさじの砂糖の一兆分の一を想像してみる。考えられないほどの微量である。家庭用の小さなごみ焼却機(構造歩イキシン対策可能)からは、悪臭もさることながら、大型焼却炉の何倍ものダイオキシンが出ている例が多い(摂南大宮田教室)という。紙(ヒメシ、ヒメシ)の燃焼に燃やさない紙(燃やさない紙)も含めて「燃やすことは毒をだすこと」(下野環境教育)で、環境問題の新しい知識がひとの健康への新しい気配りを生む。

『わたしのまちに対する想い』

3月実施のアンケート結果まとまる!!
アンケートへのご協力ありがとうございました。

図表1 調査の概要

- ◆調査名称 「わたしのまちに対する想い」 アンケート調査
- ◆調査対象 学区内の町内会に加入している全ての世帯 (598 世帯)
- ◆調査方法 町内会長さんを通じた配布・回収 (手渡し)
- ◆回収結果
 - 配布世帯数 598 世帯
 - 回収世帯数 107 世帯 (回収率 17.9%)
 - 有効回収世帯数 91 世帯 (有効回収率 15.2%)
 - 回収意見延べ数 271 件
 - ※有効回収世帯数は、白紙回答の世帯数を除いたもの。
 - ※回収意見については、複数のテーマの意見が含まれている場合は、テーマごとに意見数をカウント。最終的に、91 世帯からの回答を 271 件の意見として整理した。
- ◆調査項目
 - ①わたしのまちに対する想い
 - ②修徳学区の魅力や大切にしていきたいこと
 - ③修徳学区の課題や改善していきたいこと
- ◆調査実施 修徳自治連合会、京都市都市づくり推進課

学区の皆さんのご協力を得て、今年の三月に実施した「わたしのまちに対する想い」についてのアンケート調査の結果がまとまりましたのでお知らせします。

同アンケート調査は、今後のまちづくりに向けて、修徳自治連合会と京都市都市づくり推進課とが共同で実施したものであり、町内会長さんのご協力を得て、調査票を学区内の町内会加入世帯に配布したところ、九一世帯から、延べ二七一件のご意見をいただくことができました(図表1参照)。

調査実施にあたり、多くの皆様方にご協力いただいたことにつきまして、この場をお借りしてお礼申し上げます。

◆健康福祉、花と緑、高い跡地施設に関心が

学区の皆さんから寄せられた二七一件のご意見について、内容に応じて分類・整理を行なったところ、十のテーマに整理することができました。

◆アンケートを踏まえ、まち(学区)づくりを推進

修徳自治連合会では、今回のアンケート調査の結果などを参考としながら、京都市都市づくり推進課の協力を得て、これまで以上にさまざまな「まちづくり」活動に取り組みしていきたいと考えています。

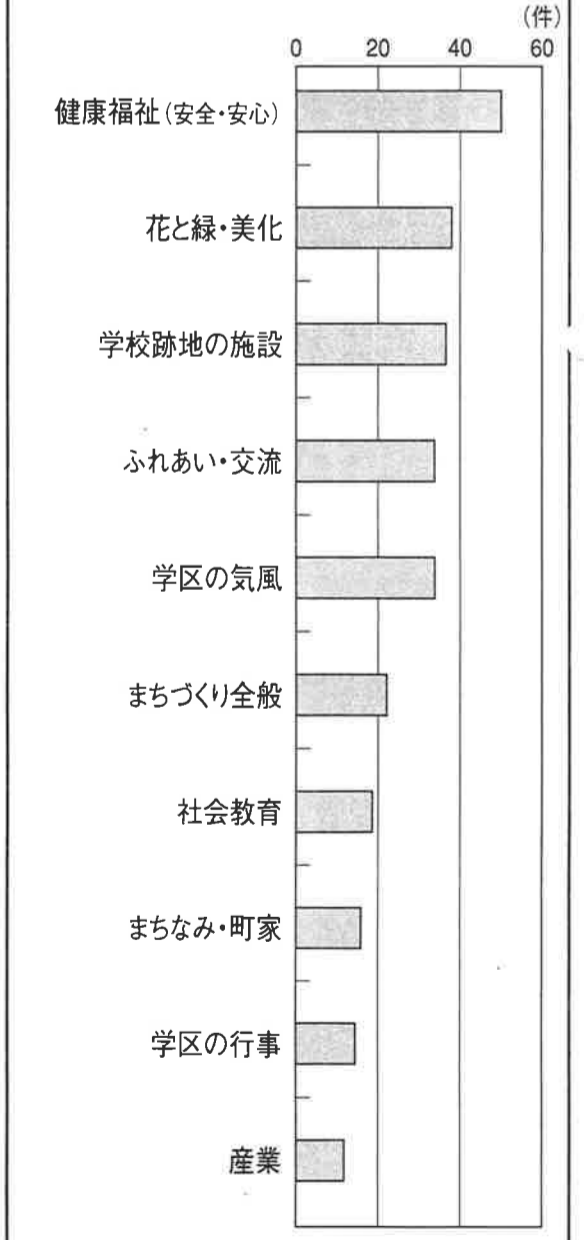
今後とも、学区の運営にご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

(まちづくり広報室)

図表3 アンケートでの主なご意見 (かっこ内の数字は類似意見の件数)

- ◆学区の気風 (32 件)
 - ・学区民の団結を大切に! (4)
 - ・助け合いの心を大切に! (14)
 - ・学区民としての誇りを大切に! (6)
 - ・まちづくりに参加したい! (8)
- ◆健康・福祉 (安全・安心) (50 件)
 - ・誰もが安心して暮らせるまちに! (9)
 - ・高齢者が暮らしよいまちに! (10)
 - ・安心して歩ける道路に! (20)
 - ・防犯・防災に取り組もう! (11)
- ◆ふれあい・交流 (33 件)
 - ・学区のふれあいを大切に! (12)
 - ・子供からお年寄までの交流を! (6)
 - ・マンション住民との交流を! (8)
 - ・若い家族に住んでほしい (7)
- ◆花と緑・美化 (38 件)
 - ・花と緑にあふれるまちに! (23)
 - ・自分たちのまちは、自分たちで美しくしよう! (13)
 - ・地域の環境を守ろう! (2)
- ◆学区の行事 (15 件)
 - ・自治連合会の活動を大切に! (2)
 - ・地藏盆などの行事の継続を! (6)
 - ・学区の行事の内容を、時代の変化に応じて見直してほしい (7)
- ◆産業 (11 件)
 - ・修徳学区の商業地域としての顔を大切に! (3)
 - ・室町の活性化を! (4)
 - ・商店街を大切にしたい! (3)
- ◆学校跡地の施設 (36 件)
 - ・交流・コミュニティ活動の場として、また、様々な入居施設に期待 (32)
 - ・多くの方が跡地施設を訪れるため、交通事故や治安が心配 (3) /等
- ◆まちなみ・町家 (16 件)
 - ・京都らしい趣のあるまちなみを大切に! (9)
 - ・京町家の魅力を大切に! (4)
 - ・大きな建物は必要ないのでは (3)
- ◆社会教育 (19 件)
 - ・社会教育が活発なまちに! (2)
 - ・学区の歴史・文化を大切に! (5)
 - ・スポーツ施設の整備を! (9)
 - ・生涯学習の場や機会を! (3)
- ◆まちづくり全般 (21 件)
 - ・生活環境が良い/悪い (8)
 - ・学区の変更がまちに影響 (3)
 - ・こんなまちにしてはどう? (5)
 - ・その他 (5)

図表2 分類テーマ別意見件数



自主防災会

大切な災害の模擬体験

自主防災リーダー研修
なんども活用防災センター

災害に遭遇したときは、まず一度きりの経験であり、用意周到に対応する手順を考えていても、何も体が動かなくなつたということになりそう。災害のシミュレーションによって、どう対応し、何をやるかを何度も体験できたら、どんなに、心強いことだろう。他府県に誇れる市民防災センターでは、バーチャルにそれが体験できるのである。

いざというとき体動く？

本年度の自主防災リーダーの研修会は、六月十二日に京都市市民防災センターで行なわれ、下京消防署山消防士長と篠原会長はじめ企画本部、連合会役員十一名、消防分団三名、防災部長、副部長、町内会長など各町から十七名が参加した。

映像体験室

豪雨の映像を横に見て、実際の台風と同じように、すごい空気が吹き出されてくる。風速三十メートルでは、ひとの皮膚がしわめるように風が吹きつける。

地震体験室

家族一人ひとりの役割分担をきめておく。家のなかでも安全空間をつくる。家具の転倒防止策を打っておく。地震が始まった。素早く火の始末。台所の湯沸器と部屋のストーブの火を消す。非常脱出口をクッションなどで

消火訓練室

台所でてんぶらを揚げていた主婦が、電話でその場を離れる。てんぶら鍋に引火する。倉庫でたばこを、段ボ



風速30メートル

震度7

避難体験室

ホテル火災の、煙が充満したなかを避難する。ハンカチをくちにあてながら、暗い廊下を姿勢を低くして出口のドアを探す。早く出てくると、どうしたのかと思うほど遅いひと。町内会などで、もう体験された方もあると聞いているが、まだの方は、ぜひ町内会やグループで行って、体験回数を重ねるのも、体が自然に動くのに役立つといえる。

町名正しい読み方は？

弁財天町 都倉昭蔵

マツワラとマツバラ、スワンチョウとスワチョウ、ベザイテンとベンザイテン。最近、金融機関その他、大方の業種の申込書、契約書などには住所にフリガナ欄がついています。それはもちろん、コンピュータに記憶させるためなのですから、それでいっても迷うのは、どちらで書くかということ。民俗の歴史と文字のルーツとどちらが正しいかは言い切れないかも知れません。しかし千年の都にはおのずから自然の変遷の歴史があります。できれば日常使っている前者

ときどきのうた
白髪交じりぬ 無料バス
改札抜け
玉屋町 安川一丸

十念ノ辻

藪下町

松原通新町の角を十念ノ辻という。往古、毎年未だその年の処刑が確定した罪人を、一条堀川付近にあった獄舎より五条河原の刑場(今の松原大橋周辺)へ連行する道順に「新町通より松原通を東へ向かった」とある。その当日、近所から大勢のお坊さんがこの辻に立

クルージング&グルメ
ショートトリップ

中野之町

五月三日(祝)、中野之町レクリエーションは、町内全戸の皆さんがご夫婦で参加のもと、午前九時五条通り小田原町より大型バスにて出発。十一時三十分神戸港に到着。港では、焼き物の展示・即売、数種のイベントが所狭しと催され大へんな賑いでした。



五月三日(祝)、中野之町レクリエーションは、町内全戸の皆さんがご夫婦で参加のもと、午前九時五条通り小田原町より大型バスにて出発。十一時三十分神戸港に到着。港では、焼き物の展示・即売、数種のイベントが所狭しと催され大へんな賑いでした。

火事往来

Table with columns for Birth (誕生), Marriage (結婚), Death (訃報), and Transfer (転入/転出). Includes names and dates.



町内レクリエーション

町内レクリエーション
野島断崖に懐然

去る五月三十日快晴に恵まれ一路淡路島をめざす。明石海峡大橋を渡り、サードエリアより明石大橋を展望。南下し西淡路の淡路屋港より明石港まで、フェリーに

自然にふれひとにふれ
六年つづく四季の会

布屋町

前夜からの雨にもめげず、みんな、いきたがりのメンバーばかり。第三十五回四季の会は六月十九日、小雨の中を宇治方面へ...。三室寺の庭いっばいに色さまざまに咲く紫陽花に目をうばわれ、しずかに花ひらこうとしている蓮の葉の白露と、青蛙のコントラストの妙...。ほつとした安らぎをおぼえる。さらびの道を、宇治上神社を経て、自然いっばいの山があり、

社福協
賛助会員
加入のお礼

「ひとりがみんなのために」「みんながひとりのために」一人ひとりの思いと力によって福祉のまちづくりをすすめていくため、学区のみならずにご協力いただいております。賛助会員加入をお願いいたしましたところ、今年も多数のご支援をいただき、まことにありがとうございました。ご協力ありがとうございました。福祉のまちづくり」に下京社福協をつうじて、寝具クリーニングサービス事業や高齢者会食など多彩な地域福祉事業に活用させていただきます。町内会長様にはご多忙のところご協力賜わり、ほんとうにありがとうございます。平成十一年六月 会長 松本 祥男

編集後記

学区民の皆さんに、読みやすいたく言っているだけという紙面にしたい。二エース的な記事は、商業新聞調にした。簡潔なかわり、ひよっとすると親しみの点ではどうかという心配もある。介護保険の説明会は、いまの関心事を四団体が企画したことには意義があると考へ、トップ記事にした。自主防災リーダー研修会も、学区民の皆さんにぜひ体験してほしいので紹介した。跡地公園づくりでの話し合いの視点を列挙してみた。これを契機にして「まちづくり」について話し合える雰囲気をつくっていきたい。(小西)